

事例の区分

事業区分	農業・農村整備（ほ場、用排水路等）事業
配慮概要	住民参加によるトミヨ（絶滅危惧 類）の保全

事業の概要

事業名	県営ほ場整備事業（担い手育成型） 末吉地区
実施場所	羽咋郡志賀町字末吉地内
事業主体	石川県（担当課：農業基盤整備課）
実施期間	平成12年度～平成16年度
全体事業費	457,000千円
事業規模等	区画整理工面積：23.3ha、暗渠排水工面積：13.3ha、生態系保全施設：1式
事業概要	ほ場整備地区内において鷺池、調整池、排水路を整備した。その際、地区内には希少種である「トミヨ」が生息するため、県、町、土地改良区、農業者、非農業者、児童が連携し、地域保全活動を行った。

環境配慮の内容

- ・ほ場整備区域内にある鷺池は、以前は湧水が豊富で水田の貴重な用水源であったが、町道の新設により分断されてから、ヘド口の堆積・葦の繁殖で環境の悪化が進んだため、事業で水田とする計画であった。
- ・その後、トミヨ（絶滅危惧 類）の生息地として脚光を浴び、地域住民の保全にむけた気運が高まったため、勉強会、生き物調査、鷺池ヘド口除去等の地域活動を側面で支援し、ほ場整備事業においても計画変更をおこない、住民参加による鷺池の環境整備により、トミヨ生息地の保全を行った。
- ・その他に、水田に通水する水を浄化するため、県、町、土地改良区職員、児童とともに小松市木場潟のビオパークから刈り取ってきたクレソンを調整池に植栽した。
- ・また水田の排水路を一部コンクリートとせず、木柵水路とすることで水生植物が生えやすい構造とした。

環境配慮の結果

- ・地域住民、専門家、行政が一体となった取り組みにより、地域ぐるみ保全活動へと発展した。
- ・県、町、改良区、農業者、非農業者、児童が連携し、地域活動が実施された点及び本地区の活動事例が、「いしかわほ場整備環境配慮指針」策定（平成16年2月）の骨格となった。

今後の留意事項等

- ・モニタリング調査を実施し、トミヨ保全活動を継続する。

